

別紙5 レセプト情報管理システム機能一覧

1	データ入力・更新機能	(1) レセ電基本マスタ取り込み	レセ電CSVに係る、基本マスタ(全件及び差分)を取り込み、更新ができること。
		(2) 全国医療機関マスタ取り込み	レセ電CSVに係る、全国医療機関マスタを取り込み、更新ができること。
		(3) レセ電CSV取り込み	支払基金提供のレセ電CSVを取り込めること。 また、レセプトの医療機関情報をもとに内部医療機関マスタの作成ができること。
		(4) 固有テキスト・画像取り込み	支払基金提供の固有テキスト・画像を取り込めること。 また、レセプトの医療機関情報をもとに内部医療機関マスタの作成ができること。
		(5) 原請求レセ取り込み	直営医療機関・契約医療機関等からの支払基金非経由のレセプト電子データ(CSV情報、画像データおよびテキストデータ)を取り込めること。
		(6) 119分類傷病コード変換マスタ取り込み	レセ電CSVにて提供される、「レセ電傷病コード」もしくは「ICD-10」から変換できること。また、月1度程度「変換マスタ」等にて更新ができること。
		(7) 内容審査業務委託業者作成データ	内容審査委託業者が作成した「再審査請求」及び「原本印刷」の情報について取り込み、更新ができること。
		(8) 再審査請求結果データ取り込み	診療報酬支払基金が提供する、「再審査結果データ」の取り込み、更新ができること。
		(9) オンライン再審査請求データ取り込み	オンライン再審査請求について、診療報酬支払基金が提供する、「再審査結果データ」の取り込み、更新ができること。
		(10) 資格情報データ取込	基幹システムからの資格データの取込ができること。
		(11) レセプト修正データ取込	基幹システムにて作成されたレセプト修正データの取込ができること。
2	データ出力機能	(1) レセプトデータ出力	各支部の基幹システム向けにレセプトデータを出力できること。
		(2) 再審査請求データ出力	支払基金の定めた仕様による再審査請求データを電子媒体形式にて出力できること。
		(3) 再審査結果データ出力	支払基金から送付された再審査結果データを、基幹システム向けに出力できること。
		(4) 内容審査業務委託業者向けレセプトデータ出力	内容審査業者委託の為のレセプトデータを出力できること。また「資格審査返戻分」及び「点数表コード」、「決定点数」等で絞り込んだ出力も可能とすること。
		(5) オンライン再審査請求データ出力	オンライン再審査請求について対応できること。
		(6) 全国医療機関マスタデータ出力	医療機関マスタデータを、支払基金提供と同様のレイアウトでCSV出力できること。

別紙5 レセプト情報管理システム機能一覧

3	画面表示	(1) 組合員情報照会	基幹システムより取り込んだ組合員に関する情報を照会し、画面表示できること。
		(2) 紙レセプトの様式による表示	レセ電CSVから紙レセプトの様式に準じた画面表示ができること。
		(3) 任意の枠・項目での表示	CSV情報から点検等をする際に表示したい項目を選択し、その項目のみを画面表示できること。
		(4) レセプト複数表示	複数件のレセプトを順次画面表示できること。
3	画面表示	(5) レセプト任意条件抽出	任意の条件(入院/入院外、医科/歯科/調剤、診療月/複数診療月間等レセプトに記載されている全項目)で抽出が可能であり、かつその抽出したレセプトを順次画面表示できること。
		(6) レセプト任意条件ソート	任意の条件(公費受給者番号順や決定点数順等)で並び替えたレセプトを順次画面表示できること。
		(7) レセプト画像複数表示	2枚以上のレセプトを画面表示できること。
		(8) メモ表示	画像表示しているレセプトに、画面上で電子付箋(メモ)等の書き込み等ができ、画面表示するしないの選択ができること。
		(9) 原本印刷済み表示	画像表示しているレセプトが、原本か、原本印刷済みであるかを判別できるように画面表示すること。
		(10) 再審査情報表示	画像表示しているレセプトが、再審査請求対象か否かを画面表示できること。更に再審査請求対象であれば返戻理由が画面表示できること。
		(11) 再審査結果情報表示	画像表示しているレセプトが、再請求レセプトか否かの情報を画面上に表示できること。
		(12) 点検済み表示	画像表示しているレセプトが、点検済みレセプトか否かの画面表示ができること。
		(13) 再審査請求レセプト表示	再審査請求年月と回数による抽出、一覧表示ができること。
4	審査・点検機能	(1) 資格審査/エラー処理	各支部が発行した保険証に基づく有効なレセプトであるかを様々なチェック項目に基づいて識別できること。
		(2) 単月点検	診療・傷病項目ごとの点検、重複請求の点検ができること。
		(3) 縦覧点検	個人毎のレセプト縦覧点検、はしご受診、指定期間内に複数医療機関で頻回受診している者を抽出し、縦覧点検できること。
		(4) 突合点検	医科(歯科)と調剤のレセプトを突合し、適正な処方及び調剤がなされているかの点検調査ができること。また、双方のレセプトのリンク登録ができること。
		(5) 外傷性点検	第三者行為の疑いのあるレセプトを抽出し、負傷原因などの点検調査ができること。
		(6) 任意設定点検	任意の抽出条件で点検できること。また、任意の抽出条件を登録できること。

別紙5 レセプト情報管理システム機能一覧

5	印刷機能	(1) レセプト印刷	原本印刷、「写」入りの選択が可能で標準の機能として印刷できること。
		(2) レセ電CSVイメージ印刷	レセ電CSV情報から紙レセプト同様のレイアウトに画面表示したレセプトイメージの印刷ができること。
		(3) メモ印刷	「3.画面表示(8)メモ表示」にて登録したメモ内容を、「5.印刷機能(1)レセプト印刷」の「写」入りレセプトに印刷できること。原本性が損なわれるので原本印刷時には印刷されないよう制御すること。
	印刷機能	(4) 再審査請求	①再審査請求情報の登録及び確認ができること。
			②支払基金に送付する為の電子媒体形式のデータ及び送付状の作成ができること。
			③再審査請求内訳票の出力ができること。
		(5) レセプト開示印刷	開示請求されたレセプトを抽出し、「写」入り印刷する。なお、開示年月日、請求者情報、請求理由、取扱担当者等の登録・管理ができること。
		(6) ジェネリック医薬品利用促進通知書	各支部でのジェネリック利用状況を任意に確認ができること。
			各支部が定めた条件によって抽出した対象者分の通知を印刷できること。
			通知書発送後に、効果確認ができること。
6	個人情報保護機能	(1) 個人情報保護機能	ユーザID、パスワードを設定できること。ユーザーごとに参照権限等が設定できること。
7	管理機能	(1) 原本管理	①CSV情報を原本として管理するか、レセプト画像データを原本とするかを各支部にて選択可能とすること。
			②原本印刷を行った場合は、印刷した紙レセプトが原本となるよう管理できること。 オンラインによる再審査データを作成した場合は、作成したデータが原本となるよう管理できること。
			③再審査請求時には、原本印刷済みとし、原審どおりのものについては、原本印刷済みから原本に戻すことができること。オンラインによる再審査を行っている場合は、非原本状態に戻すことができること。
			④再審査請求結果が返戻の場合は、再請求されてきたCSV情報や画像データが原本となるため、再審査請求時のCSV出力情報や画像データはその経緯が把握できること。
			⑤原本印刷済、非原本状態のレセプトについては、年月を複数範囲指定でき、記号、番号、検索番号、一連番号、原本印刷日(非原本日)、点数表での絞り込みができること。
		(2) 履歴管理	印刷の履歴管理(レセプト印刷、再審査請求、レセプト開示印刷等)、および閲覧の履歴管理、データ修正の履歴管理ができること。
		(3) 任意データ情報作成	レセ電CSVで提供される全ての情報について任意に選択されたデータ項目でのCSV情報を出力できること。
		(4) 複製媒体作成機能	画像データの複製媒体を作成できること。

別紙5 レセプト情報管理システム機能一覧

8	傷病分類コード変換機能	(1) 各種分類コードへの変換	レセ電算傷病コードもしくはICD10コードを119分類コード等へ変換ができること。	
		(2) 分類コード変換マスタの提供	レセ電算傷病コードもしくはICD10コードの新規追加・変更等により、今後新たに追加される傷病名等についても、新たな分類コード(119分類コード等)への対応付けテーブルを提供できること。	
9	レセプト分析機能	(1) 医療費分析	傷病別に総医療費に対する割合を算出し、傷病傾向を分析することができること。	
		(2) 傷病別分析	傷病別の分布・傾向、傷病別死亡数、受診率・1件当たり日数・1件当たり医療費を分析することができること。	
		(3) 医療費、傷病動向の分析	一定期間の医療費の高い者、はしご受診、指定期間内に複数医療機関で頻回受診している者、同一傷病で同一医療機関に複数月にわたって受診している者、長期入院をしている者等を抽出し該当者の医療費、傷病動向を分析することができること。	
		(4) 年度別の医療費分析	3年間の医療費を被保険者・被扶養者別に受診率、1件当たり日数、1件当たり医療費を分析することができること。	
		(5) 医療機関別の分析	医療機関ごとに医療費を集計し、一人当たり医療費、レセプト件数、点数、傷病名、傷病件数を集計することができること。	
		(6) 任意の統計・分析	任意の統計作成・任意の分析	任意の項目での統計や分析ができること。
		(7) 診療内容の分析	医薬品使用状況分析	傷病別の医薬品の使用状況分析ができること。
			診療機関別(入院期間別)の医療費分析	傷病を選択し、診療開始日からの診療機関別に件数・日数・点数や診療識別項目の点数を集計しその動向変化を分析することができること。 (入院年月からの入院月数に件数や診療識別項目別の1日当たりの点数を集計しその動向変化を分析することができること。)
		(8) ジェネリック医薬品の処方実績	「医療機関ごと」や「傷病別」及び「個人ごと」等にジェネリック医薬品の処方実績が把握できること。	
10	ジェネリック機能	(1) シミュレーション機能	年代別、差額別、医薬品別に、医薬品の利用状況を確認できること。	
		(2) 通知書発行機能	ジェネリック差額通知書の発行ができること。	
		(3) 効果測定機能	ジェネリック差額通知書発行の効果を確認するため、効果測定ができること。	

別紙5 レセプト情報管理システム機能一覧

11	特定健診機能	(1) 健診対象者の抽出と非対象者の設定	特定健診の対象となる対象者、非対象者の設定ができること。
		(2) 受診券発行	特定健診の対象となる受診券発行、履歴管理ができること。
		(3) 利用券発行	保健指導の対象となり利用券発行、履歴管理ができること。
		(4) 健診データの取込	健診機関からの健診データ(xml、csv)の取込ができること。
		(5) 健診データの手入力	健診機関からの紙で届いた健診データの登録ができること。
		(6) 健診データの一括階層化	健診データの一括階層化ができること。
		(7) 指導データの取込	健診機関からの指導データ(xml、csv)の取込ができること。
		(8) 個人データ閲覧	健診データ、指導データの閲覧ができること。
		(9) 国への報告データ作成	支払基金へ報告する国への報告データ、集計内訳表が作成できること。
12	データヘルス関連機能	(1) 特定健診受診率の分析	特定健診・指導データより、特定健診受診率の集計ができること。
		(2) 特定保健指導実施率の分析	特定健診・指導データより、特定保健指導実施率の集計ができること。
		(3) 生活習慣病・健診レベル判定分布の分析	特定健診・指導データより、生活習慣病・健診レベル判定の集計ができること。
		(4) 特定健診検査値の分析	特定健診・指導データより、特定健診検査値の集計ができること。
		(5) リスクフローチャート(糖尿病、脳卒中/心筋梗塞、慢性腎臓病)の分析	特定健診・指導データより、リスクフローチャート(糖尿病、脳卒中/心筋梗塞、慢性腎臓病)の集計ができること。
		(6) 事業所別医療費比較分析	レセプトデータより、事業所別医療費比較分析ができること。
		(7) 医療費の上位疾病名の分析	レセプトデータより、医療費の上位疾病名の集計ができること。
		(8) 調剤医療費と後発医薬品使用率の分析	レセプトデータより、調剤医療費と後発医薬品使用率の集計ができること。
		(9) 高額医療/頻回受診/多受診	レセプトデータより、高額医療/頻回受診/多受診の集計ができること。
		(10) データヘルス計画書の作成	厚生労働省報告用のデータヘルス計画書の作成ができること。